

県中農林ニュース

ふくしまからはじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動ニュース



【P8で紹介しているフルーツピクルス！桃と白きくらげが入っています】

第25号（令和3年8月31日発行）	
～目次～	
○特集	P.1-2
○農林業関係の動き	P.2-6
○頑張る農林業者	P.7
○おいしい6次化商品	P.8
○各部・各所の紹介	P.8
○お知らせ	P.9
編集・発行 福島県県中農林事務所	

～特集～

令和3年度JA福島さくらたむら地区 夏秋野菜出発式が開催されました！
【田村農業普及所】

7月7日（水）、JAそさいセンター（田村市船引町）で令和3年度夏秋野菜出発式が開催されました。今年は、4月の晩霜や5月の降雹の影響もありましたが、当地方の主力である夏秋野菜のピーマン、さやいんげん、トマトなど各品目ともほぼ順調に生育し、本格的な収穫時期を迎えました。式には、JA園芸部会役員、JA役職員、JA全農福島、各運送会社、田村農業普及所他約40名が参集しました。

はじめにJA園芸部会^{おおとも}大友部会長より、「これからは消費者との連携が大切、無事故で安全に市場まで運んでもらいたい。今年こそ販売目標の必達を!!」と力強いあいさつがあり、その後、生産販売目標必達と無事故輸送を祈願して、テープカットを行い出発を祝いました。

主力である夏秋野菜の販売計画は、ピーマンで1,495t・5.5億円、さやいんげんで206t・1.75億円、トマトで640t・1.85億円となっており、野菜全体の販売計画は約3,039t、販売金額は12億9,950万円を目標に、京浜市場を中心として、県内各市場などに出荷されます。

当所としては、引き続き、農産物の安全、安心のため、残留農薬検査、農産物のモニタリング検査や認証GAPの取組を推進するとともに、市町やJA等、関係機関、団体と連携しながら、栽培技術支援を中心に田村地方の夏秋野菜産地の発展を支援してまいります。





【生産販売目標の達成と無事故輸送を祈願したテープカット】

テープカットする左から田村農業普及所矢吹所長、JA 福島さくら佐久間常務理事、JA 福島さくらたむら地区園芸部会大友部会長、JA 福島さくらたむら地区本部長蒲生理事、JA パールライン福島株式会社佐藤代表取締役社長、JA 全農福島園芸部郡山園芸センター前田センター長

～農林業関係の動き（トピックス）～

「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾(基礎編)」開催中です！【農業振興普及部】

新規就農者や就農希望者を対象に、農業に関する基礎的な知識や技術への理解を深めるため、6回に分けて学ぶ「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾（基礎編）」を開催しています。

第1回は、7月13日（火）に病虫害の基礎と防除について、公益社団法人福島県植物防疫協会の平子喜一さんと草野憲二さんよりご講義いただきました。

若手農業者等17名の参加があり、「防除の方法やタイミングに活かしたい」との声が聞かれるなど、熱心に講義に聞き入っていました。

今後もそれぞれの夢や計画の実現につながるよう、農業経営管理や農作業安全等の研修会開催を予定しています。



【研修会の様子】



【熱心に質問をする参加者】

FGAP（ふくしま県GAP）認証書交付を行いました！【農業振興普及部】

令和3年7月30日（金）に、FGAPの認証書（対象品目は米）を、株式会社 agrity（郡山市）の^{おのでらあつし}小野寺 淳さん親子、ヤシロファーム（郡山市）の^{やしろうよしのり}谷代義典さん、もりとう農園合同会社（須賀川市）の^{もりとうしげき}森藤重基さんに交付しました。

今回認証を受けた3者は、GAP認証など決められた要件を満たした生産者のみが栽培できる本県オリジナル米「^{ふく}福、^{わら}笑い」の生産を来年から予定しており、今回の認証を受け、さらに安全で安心な米生産に取り組みます。

3者の経営概況は以下のとおりです。

「株式会社 agrity」は、水稻をはじめ、にんじんなどの野菜栽培のほか、自身が栽培した農産物を利用したレストラン経営を行っています。

「ヤシロファーム」は、水稻のほかに花木や料理の彩りに使用するツマ物の生産も行っています。

「もりとう農園合同会社」は、自社のお米を首都圏の料亭に納めるほか、都内のマルシェに参加し、消費者へ直接販売しています。

※FGAPは、農林水産省ガイドラインに準拠し、放射性物質対策を含めた福島県独自の基準に基づき、GAPを実践する生産者や団体を県が認証する制度です。



【^{こうま}長男の洗舞さん】 【小野寺淳さん】



【谷代義典さん】



【森藤重基さん】

グリーン・ツーリズム先進地視察を実施しました！【企画部】

7月13日（火）、グリーン・ツーリズム先進地視察（主催：石川地方グリーン・ツーリズム推進協議会）を開催しました。構成員17名が、東白川郡鮫川村の一般社団法人あぶくまエヌエスネットと鈴木一さん宅の2箇所を訪問しました。

一般社団法人あぶくまエヌエスネットでは、33年前から食や農の体験活動を受け入れており、そのノウハウや体験者に楽しんでもらう様々な取組について学びました。特に石窯ピザ体験では、自家製野菜のトッピングが絶賛でした。

鈴木さん宅では、キャンプの受入れ等を行っており、グリーン・ツーリズムの受入れ体制構築に向けた様々な工夫について学びました。草刈り機の体験乗車では、意外なことが体験ツールになることが分かりました。

両会場とも、参加者は熱心に質問し、視察先や参加者同士の連携体制が確立されました。この視察を通してグリーン・ツーリズムの受け入れ体制が更に強化されることが期待されます。



【一般社団法人あぶくまエヌエスネット
自家製野菜で作る石窯ピザ体験】



【鈴木一さん宅で草刈り機体験！】

「畑の学校」第2回活動を開催しました！【農村整備部】

『畑の学校』の第2回活動を7月12日（月）に福島県立たむら支援学校（田村市）において実施しました。

当日は、天候に恵まれ、小学部・中学部全学年57名が参加し、先生方の指導を受けながら、ニンジンの苗植えと白菜の種まきを行いました。児童・生徒からは、「種まきが楽しかった」「大きくなってほしい」等の声が聞かれました。2回目ということで、畑の活動にも慣れて、積極的に土を触れるようになった児童・生徒が増えたようでした。

次回の活動では、大根の種まきを行う予定です。



【ニンジンの苗植】



【白菜の種まき】

須賀川・石川地域農業技術革新推進協議会を開催しました【須賀川農業普及所】

7月15日（木）にJA夢みなみ岩瀬支店会議室及び、須賀川市矢沢に設置した現地実証ほ場において、須賀川・石川地域農業技術革新推進協議会を開催しました。

本協議会は、ICTを活用した実用性の高い革新的技術を試験研究機関や民間企業の協力を得て営農規模で実証し、現地での普及を図ることを目的に設置され、市町村、JA、民間企業、試験研究機関、農業者で構成されています。

会議では、今年度の実証技術である「夏秋雨除けきゅうり栽培における高温対策（ミスト冷房）」について、意見交換を行いました。

また、現地実証ほ場において比較的安価な、簡易ミスト冷房装置等の設置状況を確認し、農業総合センターの担当者や施工事業者から運用方法等についてアドバイスをいただきました。

実証ほを担当する生産者からは、夏場の作業環境改善ときゅうりの品質・収量向上に期待が持てるという意見がありました。

来年1月には今年度の成果を取りまとめ、実績検討を行う予定です。



【真剣に意見交換する参加者】

秋の味覚「梨」の選果場が開所しました！ 【農業振興普及部】

8月19日（木）、JA福島さくら郡山地区梨共同選果場（郡山市熱海町）の開所式が行われました。

郡山市では、明治時代から梨の栽培が始まり、現在は「幸水」、「豊水」の品種を主体に栽培され、市場や消費者から高い評価を得ています。

今年は、春先の凍霜害の影響が心配されましたが、生産者の皆さんの日々の管理により、例年よりも糖度が高くジューシーな梨ができあがりました。

JA福島さくら郡山地区本部長理事、郡山市長、当所農業振興普及部長等の関係者出席のもと、郡山地区梨生産部会員、選果にあたる選果員、皆で、安全に作業が行われることを祈念し、今が旬の「幸水」の選果がスタートしました。光センサーにより甘みのそろった、よりすぐりの梨が県内外へと出荷されていきました。

今年3月にオープンしたJA福島さくら農産物直売施設「あぐりあ」（郡山カルチャーパーク近く）でも販売されていますので是非味わってみてください！



【梨（幸水）の選果の様子】

小ギク 8月盆需要期出荷のための技術を実証しました！

【田村農業普及所】

田村農業普及所では、今年度から「スマート農業社会実装推進事業」により、小ギク需要期出荷のための実証ほを田村市大越町に設置し、開花までの生育を確認してきました。

近年、露地栽培の小ギクは生育後期の高温の影響により開花が進んでしまい、8月盆需要期に出荷ができないことが多くなっています。そのため、生育初期から夜間に電照することで花芽分化を抑制し、適期に消灯して花芽分化を促し、需要期出荷を可能とする技術が確立されています。

これまでの小ギクの電照栽培では光源として白熱電球や蛍光灯等が使用されてきましたが、今回はより消費電力の少ないLED電球の赤色と電球色での効果を確認しました。

その結果、どちらのLED電球でも無事に8月盆需要期に出荷することができました。

今後は実証結果をもとに、現地への導入を推進します。



【ほ場での電照状況（手前が赤色、奥が電球色）】

新しい福島県農林水産業振興計画の策定に係る意見交換会について

【企画部】

今年度、県では今後9年間（令和4年度～令和12年度）の農林水産業・農山漁村の振興に向けた施策の基本的な方向性を示す計画として『福島県農林水産業振興計画』の策定作業を進めており、7月16日（金）に県中地方の関係機関・団体の声を反映させるため、意見交換会を開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大を考慮し、参加者を絞っての開催となりましたが、参加した4市町（郡山市、田村市、須賀川市、石川町）、2JA（福島さくら、夢みなみ）からは、「農業でもデジタルトランスフォーメーション（※DX）を積極的に導入すべきでは？」「担い手としてリタイヤ組（退職者）も活用しては？」等の意見が出されるなど、熱のこもった意見交換となりました。

今後は、今回の意見交換の結果等を踏まえ、県全体（福島県農業振興審議会、福島県森林審議会、福島県水産審議会）での議論を経て、年度内に策定する予定となっています。



※DX：企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。（出典：経済産業省HP）

【活発な意見交換をする参加者】

農業用管水路工事の地元説明会を開催しました！

【農村整備部】

猪苗代湖を水源として須賀川市に農業用水をもたらしている新安積幹線用水路「越久幹線」は、老朽化に伴い平成30年から用水管の入れ替え工事を実施しています。事業最終年度となる本年、今秋から工事予定となる矢沢地区の団地にお住まいの方向けの説明会を8月1日（日）に開催しました。

当日は暑い日差しのもと、朝早い時間から多くの皆様にお集まりいただきました。

団地内の道路下に管を敷設することや日中の交通への影響等について、一人一人の住民の方の意見を取り入れた双方向的な説明会を実施することができました。

今後とも、県民の皆様の不安や疑問等を払拭し、県営工事へのご理解を得るため、誠心誠意努めて参ります。



【説明会の様子】

～頑張る農林業者～

☆藤寿産業株式会社（郡山市）☆

地域木材を活用した高付加価値の集成材製品の提供と木造施設づくりの総合プロデュース企業として木材活用の提案、技術サポートを行っています。

木材の可能性を最大限に高める商品や技術開発にも積極的で、今年は県の木材製品需要拡大技術導入事業を活用して、県産材を用いた耐火木質部材接合部の安全性の検証やカラマツを用いた強度型耐火部材の開発に取り組んでいます。

藤寿産業株式会社の手がける県産材を使用した集成材製品、木造建築物は県内のみならず首都圏をはじめとした全国にまで及んでいます。



～おいしい6次化商品～

★MANA(須賀川市)の地元産の食材にこだわった無添加ピクルス★

やわらかい酸味と甘みで、酸味の苦手な方や、お子様もとても食べやすいピクルスです。種類も豊富で、旬の野菜や果物を使ったピクルスが現在 10 種類以上あるそうです。きくらげがオススメで、いろいろな野菜と一緒に漬けてあるので食感も楽しくいただけます。(きくらげのピクルスを初めていただきましたが、プリプリでコリコリの新食感！)

他にも、桃やパイナップルなどのフルーツのピクルスもオススメです。フルーツの甘み、香りも感じられながらスッキリしていて、デザートやおやつにぴったりです。ご家庭で残ったピクルス液は、炭酸水で割ってビネガードリンクとしてもお楽しみいただけます！保存期間も 1 年以上と長く、常備菜、お酒のおつまみ、お土産としても人気があります。



【お気に入りを見つけてみてはいかがでしょうか】

玉川村の『こぶしの里』や須賀川市の『すかがわ観光物産館 flatto』でお求めいただけます。

健康・美容の需要が高まっている今、ぜひご賞味ください！



【左：ニンニクのピクルス】

【右：きくらげのピクルス】

～各部・各普及所の紹介～

森林林業部

森林林業部は、水源の涵養^{かん}や土砂災害の防止など、森林の多面的な機能を維持しながら、地域森林資源の積極的活用による林業や木材産業の振興を図ることを目的に、林業課と森林土木課の 2 課、17 名体制で業務を行っております。

林業課では、東日本大震災からの森林再生と林業復興を目指して、ふくしま森林再生事業をはじめとする間伐などの森林整備事業や地域材利用拡大のための各種支援を行うとともに、安心・安全なきのこや山菜を供給するためモニタリング検査などを行っています。

森林土木課では、効率的な森林整備や木材生産に向けた林道などの路網整備を行うとともに、近年増加している台風や豪雨による山地災害を未然に防ぐための保安林の整備や治山事業を行っています。

震災から 10 年が経過しましたが、森林・林業の分野においても、復興に向けてまだまだやるべきことが沢山あります。

引き続き森林に関する各種業務を通じて、地域の振興と県民のみなさまの安全を守るため、努力してまいります。



【森林のはたらき】

～お知らせ～

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン県中地方特産品等プレゼントを実施します！【企画部】

県産農林水産物の美味しさや安全性をPRし、消費拡大と地産地消を推進するため、県中管内の22常設直売所における購買者を対象としたプレゼント企画を実施します。条件を達成すれば必ずもらえるプレゼント企画もご用意しておりますので、皆様是非ご応募ください！

(1) 応募期間

令和3年9月15日（水）～12月26日（日）

(2) 応募方法

対象直売所又は郡山合同庁舎入口に備えてある応募用チラシに、お買い物時のレシートを貼付け、県中農林事務所企画部に郵送又は持参、対象直売所のうち応募箱が設置しているところは、応募箱に投函してください。

(3) 景品

抽選で60名の方に「GAP農産物等県中地方特産品詰め合わせ」をプレゼントするほか、管内4方部（各方部1店舗以上）でお買い物をした方にはもれなく「6次化商品等のプチギフト」をプレゼントします！

対象となる常設直売所については、県中農林事務所ホームページに掲載しております。【<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/ki-kikakutop.html>】



【プレゼント（詰合せ）イメージ】

「ふくしま・ど・真ん中 就農促進フェア」（新規就農相談会）を開催します！ 【農業振興普及部・田村農業普及所・須賀川農業普及所】

令和3年9月18日（土）福島県農業総合センター（郡山市）多目的ホールにて「ふくしま・ど・真ん中 就農促進フェア」を開催します。開催時間は、10時30分から15時30分（15時受付終了）となります。

内容は、県中地方の市町村等による就農相談や就農支援情報の提供と県中地方を中心とした農業法人などによる雇用相談が主となります。参加料は無料で、新たに農業を始めたい方から、ちょっと農業に興味がある方までどなたでも参加いただけます。

詳しくは下記のHPをご覧ください。県中農林事務所農業振興普及部（024-935-1310）までお問い合わせください。

なお、会場にあたってはマスクの着用など新型コロナウイルス感染対策をお願いするとともに、新型コロナウイルスがまん延した場合は中止といたしますので、あらかじめご了承ください。



【HP QRコード】

お問い合わせはこちら

【編集・発行】

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540

郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314

